令和２年度　出雲市立荘原小学校　学校だより　11 月号　　2020/11/30

荘原小だより

「努力する子ども」　「よく考える子ども」　「からだと心を鍛える子ども」　「やさしく仲よくする子ども」

失敗は成功のもと～なんにでもチャレンジ～

この言葉は私の大変好きな言葉です。子どもの成長を考えた時に、失敗を一度もせずに大きくなる子ども（もちろん大人も）はいません。大なり小なりの失敗を経験して、いろいろなことを学んでいきます。

自分が立てた目標に対して、何もしなければ失敗はしません。しかし、それでは成長や成果は望めません。果敢に挑戦すれば、失敗は避けられません。ある心理学者によると、後悔の７５％は「やらなかったことに対する後悔」だそうです。「やらぬ後悔より、やる後悔」、ぜひ積極的に何事にもチャレンジしてほしいものです。

また、失敗したときは、成功へとつなげるためにその後がとても重要になってきます。失敗したとき、なぜ失敗したのか、どんな失敗だったのか、その失敗をしないためには次にどうすればよいのか、自分でふりかえることが必要です。その中で、自分が間違ったと思えば、そこは正直に認めて謝罪し、次に進むことが大切です。周りの人も、誰でも失敗はする、大切なのはその後だという寛容な気持ちをもって接すれば、その失敗がやがて成功へとつながっていくと信じます。失敗だと思っていても、鉄棒の逆上がりのように成功へと徐々に近づいている失敗もあります。成功するまで続ければ、それは失敗ではなくなるのです。

【写真は、本文とは関係ありません】

これからの変化が激しい世の中を生きていく子どもたちにとって、「試行錯誤」英語では「トライ＆エラー」の気持ちはとても重要です。なぜなら、子どもたちはこれから絶対的な正解のない道を歩いていかなければならないからです。失敗を恐れすぎては、その場から一歩も前に進むことができなくなってしまいます。もし失敗しても、「失敗は成功のもと」と気持ちを切り替えることができれば、やがて成功が近づいてくると信じたいですね。

【サン・レイク学習（5年生）】

宍道湖で「サバニ」絶好の天気に恵まれて

初めてガスバーナーを使っての「焼杉作り」

練習してきた「スタンツ」

班で協力した「オリエンテーリング」

6年被爆体験伝承者の講話

3年　点字学習

2年まち探検（コミセン）